

## 小児科疾患の病原体サーベイランスについて

### 咽頭結膜熱、感染性胃腸炎の検出状況

平成 28 年 4 月 1 日から新たに施行された埼玉県病原体サーベイランス実施要領では、病原体サーベイランスの重要度が高いRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病及びヘルパンギーナの 5 疾患を対象に、検体提出機関である小児科病原体定点が毎月 4 検体を目安に採取することになりました（定常調査）。今回は、患者サーベイランスで報告患者数が多い咽頭結膜熱、感染性胃腸炎について、検体の搬入状況及び検査結果（埼玉県衛生研究所実施）を報告します。

4 月 1 日から 6 月 9 日までに県 13 保健所管内の小児科病原体定点 28 カ所のうち 7 保健所管内の 9 カ所で咽頭結膜熱 29 検体、感染性胃腸炎 30 検体の計 59 検体が採取されました（表 1）。咽頭結膜熱検体から検出されたアデノウイルスは 2 型 6 件、5 型 3 件、3 型 1 件でした（表 2-1）。感染性胃腸炎検体からの検出は A 群ロタウイルスの 9 件が最も多く、次いでノロウイルスの 6 件（G Ⅰ:4 件、G Ⅱ:2 件）、サポウイルス 4 件、アストロウイルス 1 件の順でした（表 2-2）。

表1 小児科病原体定点から搬入された検体数\*

保健所	小児科 病原体定点	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎
川口	A	1	14
川口	B	12	1
鴻巣	C	1	-
秩父	D	1	-
熊谷	E	1	-
加須	F	1	4
草加	G	5	7
草加	H	6	4
狭山	I	1	-
総計		29	30

\*: 4月1日～6月9日に採取されたもの (0: -)

表2-1 咽頭結膜熱のウイルス検出状況

分離ウイルス	検体数
アデノウイルス2型	6
アデノウイルス3型	1
アデノウイルス5型	2
アデノウイルス5型、インフルエンザウイルスC型	1
ウイルス不検出	9
検査中	10
総計	29

表2-2 感染性胃腸炎のウイルス検出状況

分離ウイルス	検体数
A群ロタウイルス	8
A群ロタウイルス、アデノウイルス2型	1
ノロウイルス(G Ⅰ)	2
ノロウイルス(G Ⅱ)	3
ノロウイルス(G Ⅰ)、サポウイルス	1
サポウイルス	2
サポウイルス、アデノウイルス3型	1
アストロウイルス	1
ウイルス不検出	6
検査中	5
総計	30

新たに始まった病原体サーベイランスは、収集した病原体情報を分析することで、適切な感染症対策を図ることを目的としています。患者サーベイランスによると手足口病とヘルパンギーナは流行期に入りつつありますので、病原体定点医療機関の先生方には、手足口病とヘルパンギーナの検体採取にも御協力をお願いします。